

かまし No.26

Gikaidayori Kamashi

平成 24 年(2012)11 月 1 日

**嘉穂小学校建設工事契約/情報基盤整備
に関する調査特別委員会を設置しました**

2P

9月補正予算
浦田吉彦議員に対する辞職勧告決議案を可決

3P

**委員会審査結果報告
意見書・請願
議決結果一覧**

4P

6P

7P

いっぽん質問

8P

委員会の動き
決算 6 会計を認定

15P

16P



地域が
一つに



足白小学校運動会

嘉穂小学校建設工事

18億7,287万円で契約



嘉穂小学校イメージパース図（夢サイト嘉穂横）

嘉穂小学校建設（校舎・体育館等）にかかわる工事請負契約について、平成24年8月29日に条件付き一般競争入札が行われた結果、18億7287万300円（最低制限価格）で落札したので、9月定例会最終日に市長より

議会に提案され、出席者全員をもって可決しました。
嘉穂小学校建設工事の総額は、プール整備を含む敷地造成工事、放流水路整備工事などを含めて、24億663万円となりました。
財源の内訳は、国庫

支出金7億6816万円、合併特例債15億5630万円、一般財源8217万円となりますが、合併特例債は、交付税で戻りが見込まれますので、実質的な市の負担額は、5億4906万円を見込んでいます。

入札の結果
最低制限価格で4社が応札し、くじ引きの結果、前田建設工業(株)九州支店が落札しました。
なお、嘉麻市は、入札前に予定価格と最低制限価格を公表しています。

工事の施工計画		24年度		25年度	
業務名	概要等	下期	上期	中期	後期
敷地造成工事	敷地造成工事 プール・調整池整備工事	→	→		
小学校建設工事	小学校建設工事（校舎・体育館）、 太陽光発電設備	→	→	→	
関連排水路整備工事	敷地内排水路付替に伴う上下流排水路整備	→	→		
その他工事等	施工監理委託			→	



山倉敏明副委員長



田中日本明委員長

同委員会では、3月に予算を可決したケープルネットワーク全市拡張事業に関し、インフラ整備の手法やサービスク内容について調査・研究を行います。
なお、委員長には田中日本明委員が、副委員長には山倉敏明委員が互選されました。

7月18日に臨時議会が開催され、議長を除く全議員で構成する情報基盤整備に関する調査特別委員会を設置しました。

情報基盤整備に関する調査特別委員会を設置しました

9月補正予算

一般会計 10億6,521万1千円増額

総額 290億6,701万9千円

国民健康保険特別会計 1億2,181万8千円増額

総額 59億8,953万9千円

後期高齢者医療特別会計 補正なし

総額 6億1,793万6千円

介護保険特別会計 2,405万2千円増額

総額 56億9,610万9千円

住宅新築資金会計 補正なし

総額 2,634万7千円

水道事業会計 補正なし

総額 11億5,193万5千円

総額/12億1,108万1千円増額の425億4,888万5千円

一般会計補正の主なもの

(歳入)

土木施設災害復旧費国庫負担金

1億2,892万円増

財政調整基金繰入金 4億2,299万8千円増

土木施設災害復旧事業債 6,430万円増

(歳出)

土木施設災害復旧工事 3億630万円増

嘉麻市マスコットキャラクター作成謝礼等

15万円増

観光PRに要する費用 545万3千円増

織田廣喜美術館フレーム切手購入120万円増



織田廣喜美術館

浦田吉彦議員に対する 辞職勧告決議案を可決!!

定例会最終日の冒頭、9名の議員の連名により、浦田吉彦議員に対する辞職勧告決議案が提出されました。

提案理由は、「浦田吉彦議員は、平成21年に住宅新築資金の滞納が発覚した。

また平成23年の資産等報告書では、政治倫理審査会から、国民年金の未納が指摘されていたにもかかわらず、さらに1年経過した平成24年の資産等報告書においても、国民年金保険料の納付状況の報告義務を怠るという政治倫理条例第9条の規定に違反しているばかりか、保険料の納入の有無を問う審査会の質問状にも期限内に回答がなされなかった。

納付可能な年金の納付はされたとの報告はされたが、審査会意見

浦田吉彦議員に対する辞職勧告 決議案の記名投票の結果

投票総数 19票

(賛成) 18票

田中日本明	森 裕治	廣方 悟
山本幹雄	田上孝樹	田淵千恵子
藤 伸一	岩永利勝	永水民生
山倉敏明	赤間幸弘	宮原由光
中村春夫	嶋田尋美	北富敬三
吉永雪男	坂口政義	森 丈夫

(反対) 1票

田中義幸

(退席)

梶原雄一

※議長は裁決に加わりません。

※白票は会議規則の規定により反対として

取り扱います。

書の指摘事項も反故にし、この1年間所定の年金手続をとらぬまま過ごし、法で定められ、社会人として当然の義務である年金の納付がなされておらず、誠意や反省の行動さえうかがえず、言語道断であり、その責任は重大だ。」と指摘するものです。

議員の中からは、浦田議員ばかりが悪いのではなく、議会として放置してきた責任もある。態度を保留するとの意見もありました。

記名投票による採決の結果、左記のとおり賛成多数で可決しました。

※ このほか政治倫理の確立に関する決議を出席者全員で可決しました。

委員会 審査結果報告



定例会中に開催された委員会の審査や活動を報告します。



中村委員長



岩永副委員長



田中委員



森 委員



田中委員



赤間委員



宮原委員

総務財政委員会

審査内容を見直し
整理統合を

男女共同参画推進 条例の一部改正

本案は、男女共同参画審議会の所掌事務について、所要の改正を行うとともに、男女共同参画社会基本計画策定審議会条例に基づく審議会を廃止するため、提案されたものです。

例規上では、一つの計画を策定するにあたって、二つの審議会から意見を聞くことにな

る等の理由により、今回、計画策定の充実と事務事業の効率化を図る観点から、「男女共同参画審議会」に所掌事務を一本化し、「男女共同参画社会基本計画策定審議会条例」を廃止するものです。

委員より、条例改正で、どのような効果が期待されるのかとの質問に対し、まず、男女共同参画審議会の委員は、施策の実施状況や進捗管理を行っており、男女共同参画全体に渡

って熟知されているため、計画策定にも関わることによって、より実効性が高まる計画になると考えている。

次に、一つの計画を策定するにあたって、附属機関が2つあることはあまり好ましくないので、整理統合することによって、事務の効率化を図ることができるとの回答がありました。

委員から、男女共同参画審議会の所掌事務が新たに追加されているが、調査・審議する内容を全体的に見直すことで、整理統合できる部分もあるのではないかと意見も出されました。

審査の結果、出席者全員をもって可決しました。



民生文教委員会

建替えを要望する 市民の声は大きい

本請願の趣旨は、稲築地区公民館が老朽化したため、建替えを求めるとともに併設の図書館についても充実を求めるものです。

委員より、合併前の旧稲築町では、図書館、公民館機能を持った複合施設の建設計画があったが、嘉麻市になって総合計画などの中で公民館整備、建替えの内容は盛り込まれているのかとの質問に対し、旧稲築町の計画は嘉麻市に引きつがれており、現在では、公民館と図書館はそれぞれ対処していくこととしているとの回答がありました。

建物を見ると一部下がっていたり、傾いたところがあるが、鉦書認定を申請したらどうかとの質問に対し、過去何度か申請しているが認定されなかったと



嶋田委員長



田淵副委員長



山本委員



藤委員



永水委員



梶原委員



浦田委員



豊委員

稲築地区公民館整備 (建替え)に関する 請願

の回答がありました。

図書館建設についての市長の政治的判断を問う質問に対し、蔵書という面では、すぐ取り組むようにしているが、建物は、総合的な基本施策を立てて対応していく必要がある中で、優先順位を含めて総合計画などの中で対応していきたいとの回答がありました。

委員からは、市民からは建設を要望する声も多く聞くので是非建設してほしいとの意見などがありました。

審査の結果、全会一致で採択しました。



稲築公民館の状況を調査する委員

産業建設委員会

一般家庭に対するの補助、公共施設等への設置など研究を

大規模太陽光発電設備設置促進条例について

大規模太陽光発電設備の設置を促進するための奨励措置を講じることにより、市内に再生可能エネルギーの導入促進を図り、環境に優しいまちづくり及び地域産業の活性化に寄与するため提案されたものです。

執行部より、大規模太陽光発電設備の設置を促進することによる経済効果としては、遊休地が活用されることで土地造成等の工事が期待できること、市内の誘致企業の製造品の使用が期待できること、地元企業が出資などにより経営に参画することで、地元企業の事業規模の拡大が期待できること、さらに、敷地も含めて設備の維持管理が発生することで、地元企業への受注が期待できるなど、



森委員長



北富副委員長



廣方委員



田上委員



山倉委員



坂口委員

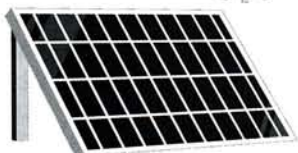


吉永委員

また、市としても、税収増やイメージアップにもつながるといいうメリットがあるなどの説明がありました。

委員より、この事業は、来年度以降、行政だけでなく民間ベースでも加速して進んでいく事業と考えられるので、早急に基本計画をまとめて対応してほしいとの意見や、環境に優しいまちづくりをするのであれば、一般家庭に対するの補助制度、公共施設等への設置などを研究し、CO₂削減に努めてもらいたいなどの意見がありました。

審査の結果、全会一致で可決しました。



意見書

「森林・林業再生プラン」に係わる具体的政策の推進を求める意見書

森林の多面的機能の持続的発揮と森林資源の有効活用に向け、「森林・林業再生プラン」の具体的施策の推進を図ることなど3項目の実現を国に求めるものです。

(全会一致・可決)

自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書

地方自治体共通の課題である社会資本の経年劣化対策等の防災・減災のための事業について重点的な予算配分を行い、地方負担額の軽減措置を講じるよう国に求めるものです。

(全会一致・可決)

垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイの配備及び低空飛行訓練の撤回に関する意見書

普天間基地へのオスプレイの配備を中止することや日本全国6ルートでの低空飛行訓練を中止することを国に求めるものです。

(全会一致・可決)

改正貸金業法の堅持及び多重債務対策の強化を求める意見書

現行の改正貸金業法を堅持し、上限金利の引き上げや貸付の総量規制の緩和を行わないことなど6項目について取り組みを強化・推進するよう国に求めるものです。

(全会一致・可決)

地方財政の充実・強化を求める意見書

被災自治体に対する復興費については、国の責任において確保し、自治体の財政が悪化しないよう各種施策を十分に講ずることなど、3項目の対策を国に求めるものです。

(全会一致・可決)

請願

嘉麻市地下水採取の規制条例制定に関する請願書

地下水を採取するにあたっては、周辺住民への公聴会及び協定書を義務付けることや事前の調査を義務付けることなどを盛り込んだ地下水採取の規制条例制定を求めるものです。

稲築地区公民館整備(建替え)に関する請願

稲築地区公民館が老朽化しているため、建替えを求めるとともに、併設の図書館についても充実を求めるものです。

経常収支比率とは？

自治体の財政状況を分析するための指標の一つで、経常経費充当一般財源(人件費、扶助費、公債費などの毎年経常的に支出される特定の財源を持たない経費)を経常一般財源(毎年経常的に収入される一般財源)で割ったものです。

数値が低いほど投資的経費など臨時的な経費にまわす財源を確保することができることになり、高いほど経常的な経費が財政を圧迫し、財政構造の弾力性が低いということになります。

市では75%と80%くらいが良いとされており、嘉麻市は23年度決算で94.2%となっており、前年度は95.6%でしたので、若干、財政構造の弾力性が向上したと言えます。

※ 16ページに関連記事

議案の結果一覧（9月定例会）

○・・・全会一致
△・・・賛成多数
＊・・・討論あり

各委員会で審査された議案を本会議で採決した結果

総務財政委員会		
議案第45号	男女共同参画審議会の所掌事務の改正を行うとともに、男女共同参画社会基本計画策定審議会を廃止する	○可 決
請願第4号	「MV22オスプレイ」の配備中止を求める意見書提出を求める	継続審査

民生文教委員会		
請願第1号	市内小中学校の学校図書館の蔵書を整備することを求める	○採 択
〃 第2号	嘉麻市内の地下水採取の規制条例制定を求める	○採 択
〃 第3号	老朽化した稲築地区公民館の建替えを求めるとともに、併設の図書館の充実を求める	※○採 択

産業建設委員会		
議案第44号	大規模太陽光発電設備の設置を促進するための奨励措置を講じる	○可 決
〃 第46号	寄附を受けた口春地区の道路敷きを新たに市道路線として認定する	○可 決
〃 第47号	木城地区ふれあい広場の宅地造成による道路敷きを新たに市道路線として認定する	○可 決

予算特別委員会		
議案第43号	専決処分の承認を求める（平成24年度 一般会計補正予算（第3号））	○承 認
〃 第48号	平成24年度 一般会計補正予算（第4号）	○可 決
〃 第49号	平成24年度 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○可 決
〃 第50号	平成24年度 介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○可 決

決算特別委員会		
認定第1号	平成23年度 一般会計歳入歳出決算の認定について	※△認 定
〃 第2号	平成23年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○認 定
〃 第3号	平成23年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○認 定
〃 第4号	平成23年度 住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○認 定
〃 第5号	平成23年度 介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○認 定
〃 第6号	平成23年度 水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○可決及び認定

その他		
議案第51号	嘉穂小学校建設工事の契約を締結する	○可 決

いっぱん質問

行政の動きを聞く



田上 孝樹 議員 福祉行政について 9P	田中 日本明 議員 嘉麻市活性化対策について 9P
中村 春夫 議員 環境行政について 10P	赤間 幸弘 議員 嘉麻市ケーブルネットワーク施設条例について 10P
吉永 雪男 議員 7月の豪雨災害について 11P	宮原 由光 議員 災害対策行政について 11P
廣方 悟 議員 防災訓練と被災者等の支援について 12P	藤 伸一 議員 窓口業務について 12P
田淵 千恵子 議員 防災計画について 13P	田中 義幸 議員 デジタルSTB設置工事について 13P
山倉 敏明 議員 施政運営について 14P	山本 幹雄 議員 7.14の集中豪雨による災害について 14P
北富 敬三 議員 県道豆田・稲築線西岩崎の拡幅工事について 15P	

紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。

田中 日本明 議員

嘉麻市活性化対策について

問. 活性化に向け大型事業はできないのか

答. 市の計画に優先順位をつけ、提案していきたい



田中議員

質 今日まで嘉麻市活性化に向けての施策はなされなかったと考えているが、市長はどのような考えを持っているのか。

松岡市長 市の自主財源は20%に満たない。そういった中で活性化を進めていくというのは非常に厳しいものがある。

質 合併当初から市全体を見回して活性化施策を図らなければいけないことを市長に申し上げてきた。3月に作成

された嘉麻市活性化戦略プロジェクト構想の現実味のある施策はどのようなものか。

福田企画調整課長 活性化戦略プロジェクト推進会議を庁内で立ち上げ、実行していることと、進んでいる。

質 活性化に向けて大型事業の展開が必要ではないか。

市長 今後十分財政状況を捉えていかなければいけないし、国の動向を十分調査、研究し

ながら、議会とも相談しながら、取り組んでいかなければいけないと考えている。

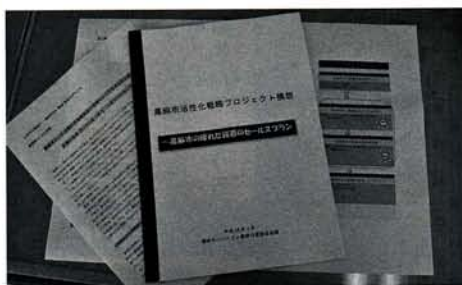
質 市民に直結した事業で、事業の実行については市長の判断とかが決断が問われる。一般の決算特別委員会での合併支援措置がなければ、赤字だということだったが、これから大型事業の展開はできないのか。

中嶋財政課長 合併支援措置がなくなること

を十分認識し、行財政運営に取り組む必要がある。合併以降、市長のマニフェストや本市の総合計画、過疎計画により、まちづくりを推進しているところで、今後ともそれらにより進めていくということになる。

市長 全ての事業を行うことは不可能だ。最終的には私が優先順位をつけ、提案していきたい。

要望 活性化には、多少の財政負担は必要。(合併特例債などの)



嘉麻市活性化戦略プロジェクト構想

財政支援のある今だからこそできるのであって、後悔のない政治的判断を求めます。

田上 孝樹 議員

福祉行政について

問. 嘉麻市母子寡婦福祉への助成について

答. できるだけ応えたいと思っている



田上議員

質 嘉麻市母子寡婦福祉会の目的と活動内容は、深町子ども育成課長、寡婦、母子家庭や福祉家庭との子どもの養育問題や経済面だけでなく、さまざまな問題を抱えている。そうした方々の情報交換を通じ福祉の向上を図りたいとの趣旨で発足されている。

質 以前にも、母子寡婦福祉会があったと聞いているが解散した理由は何ですか。

子ども育成課長 平成

19年5月に当時会長の、健康上の理由や後継者不足あわせて会員の減少などと聞いています。

質 嘉麻市母子寡婦福祉会が再設立された経緯については、

子ども育成課長 県の嘉穂鞍手保健福祉環境事務所の方から母子寡婦福祉会発足について打診、協力依頼があったので、平成22年3月に山田庁舎において設立総会が開催された。

質 担当課として、母子寡婦福祉会にさらな

る支援を願いたいが、

子ども育成課長 福祉会の方から、要請があればできるだけ応えたいと思っています。

質 嘉麻市の母子寡婦福祉会の運営は、パソコン教室での託児所の開設による資金を活用しながら手作り、手弁当で運営している。他の地区では補助金や自動販売機の収益等を助成されているようだが、本市での考えは。

松岡市長 近隣の飯塚・桂川は、自販機の

収入を得てやっていることは聞いている。この会が、さらなる成果を上げてもらい、市でも対応していかなくてはならないという形をせひつくりあげてもらいたい。大変厳しい時代で、母子家庭、父子家庭については援助をしていかなければいけないと考えている。

※このほか、総務行政について、被災された方々の避難所生活における食事、毛布の提供のほか、入浴サービス



の提供の質問を行った。

赤間 幸弘 議員

嘉麻市ケーブルネットワーク施設条例について

問. 住民説明会で説明した内容が現状全く進んでいないが、それでも基本料金を徴収するのか。



赤間議員

答. 当初の予定通り行う。

質 基本料金として、本年10月から800円、平成27年4月から千円を徴収することとなるが、継続して加入すると回答された世帯数は、松本CATV（ケーブルテレビ）担当参事個人世帯に4414通の加入申込書を送付し、3220通の回答があり、93.5%の世帯が継続して加入すると回答があった。

質 個人世帯に4414通の加入申込書を送付し、3220通の回答があり、93.5%の世帯が継続して加入すると回答があった。付し、3220通の回答があり、93.5%の世帯が継続して加入すると回答があった。松岡市長 当初の予定通り行う。

質 基本料金を徴収することはやぶさかではないが、市民を置き去りにしているし、約束違反になるのでは。市長 住民説明会での説明とは違うが、料金そのものについて全市であろうと山田地区であろうと影響はない。

質 3月に当初予算を可決して、9月までの半年間、インフラ整備の方式が決定できないのは、今後どのようなサービスを提供し事業を展開したいのか、将来的に嘉麻市の情報化をどのように実現したいのかという、市長の明確なイメージがなく、考えが示されていないことが原因だと思ふ。このような状況で、事業は間に合うのか。さらに、予算が執行



ケーブルテレビ自主放送

ある。市長 どんな問題があっても、最終的に責任を取るの私だ。

中村 春夫 議員

環境行政について

問. 新エネルギー産業技術総合開発機構に対し旧炭鉱地下坑道図の請求を



中村議員

答. 公開しないと聞いた事があるが再度あたる。

質 山田川の稲築の白濁水は坑内水の硫化水素を次亜鉛素酸ナトリウムで中和したためであるが中和後の水は本当に安全なのか。平嶋環境課長 平成19年に一度水質汚濁防止法に基づいて水質検査を行っているが、あらためて嘉麻市として水質検査を行う。

質 熊ヶ畑の不法投棄産廃についてその後の県の対応は。環境課長 新たな進展はない。百谷産廃場については。環境課長 産廃場の異臭については7月30日に当該地四か所で地元住民立ち会いの上、検知器による調査を行ったが異常はなかった。地元住民の要望書については返答はない。

質 すぐ上にある中間処理場に対する廃棄物の過剰保管についての改善命令については。環境課長 履行期限が11月22日までとなっている。現在は完全な撤去がなされていないので、県は業者に対し催告書を出している。

質 嘉麻市内の産廃場への平成23年度の搬入量については。環境課長 まだ書面ではといていないが集計は出来ているとの事だ。熊ヶ畑の産廃場への立ち入り調査については。環境課長 公害防止協



山田川

定に基づき市の自然環境保全監視員が2名体制で毎月巡回し、9月初旬に自分も立ち入り視察をしてきた。残容量についても異常は認められなかった。地元住民の同行については引き続きお願いする。熊ヶ畑産廃場は旧炭鉱の跡地で坑口や坑道など陥没等の危険がある。嘉麻市として新エネルギー産業技術総合開発機構に対し嘉麻市全体の旧炭鉱の地下坑道図を請求し手に入られてほしい。松岡市長 以前新エネルギーは公開しないと聞いた事があるが、再度当たってみる。

宮原 由光 議員

災害対策行政について

問. 梅林公園、猪之鼻川、原町地区は総合的に計画を立て復旧してもらいたい

答. 水利調査をし、必要な箇所は水路の改修・新設等を考えたい。



宮原議員

質 梅林公園の復旧と合わせて、浸水被害を受けた下流の住宅地域も含めた、大法白馬山から下山田小学校前の信号機までの間の総合的な復旧計画も立ててもらいたい。

質 猪之鼻川と原町地区の災害復旧は、総合的な復旧をしないと再度浸水する恐れがある。山口土木課長 猪之鼻川周辺住宅の浸水被害は、山田川の増水による河川の氾濫が原因の

一つと考えられる。今年度は被害状況を確認し、来年度の当初予算で、山田地区の広範囲な水利調査を行い、必要な箇所には水路の改修・新設も考える必要がある。

質 災害時の一人暮らしの方の安否確認や避難誘導にすぐ対応でき

るよう、日頃から対策を考えるべきと思うが、災害対策本部に要援護者への援護体制づくりはできているのか。

質 熊ヶ畑地区の産廃処分場について

原町地区の土砂災害は、災害関連急傾斜崩壊対策防止事業として、現在国に申請し、協議している。

質 災害時の一人暮らしの方の安否確認や避難誘導にすぐ対応できる



被害に遭った梅林公園入り口付近

吉永 雪男 議員

7月の豪雨災害について

問. 被害を受けた梅林公園の早期復旧を

答. 再来年の観梅会に間に合うよう努力していきたい



吉永議員

質 今年7月の豪雨により、市内各所で甚大な被害を受けているが、梅林公園の復旧計画はどう考えているのか。

田中産業振興課長 公園自体の整備はもとより、下流域の住宅も床上浸水などの大きな被害を受けているので、今後、再発防止の観点から、公園内の水路、調整池の設置などを十分検討し、復旧に向けて整備を行うこととしている。

質 本年度は測量、調査、設計を実施し、来年度には本工事を実施する計画である。

再来年の観梅会は実施できるような努力していきたい。

熊ヶ畑小学校の存続・住宅政策について

質 熊ヶ畑小学校の児童数は、

秋吉教育部次長 平成24年は全学年で20名（うち熊ヶ畑小学校区からの通学児童12名）、平成27年度は、推測で

あるが16名（うち校区内児童12名）である。

質 児童数が20名を超えることは難しいと思うので、ヤマエ畜産跡地に若者向けの市営住宅を建てれば、熊ヶ畑小学校の存続も可能ではないか。

松岡市長 熊ヶ畑小学校は、地元の敬老会に参加するなど、コミュニティスクールとして熊ヶ畑地区の活性化に大きくつながっている。

以前、若者向けの住

宅計画を考えたこともあるが、利便性を考慮すると厳しいとの意見が多かった。

今後、児童数が減り、10名以下になると存続は厳しいと考えている。

要望 熊ヶ畑小学校を存続するため、住宅を整備し、市職員の居住促進や、戦後学校に行けなかった高齢の方の学習の場とすることも検討してもらいたい。

※その他、火葬場建設、



熊ヶ畑小学校

政治倫理条例について質問しました。

地調査で違法行為が確認できれば、県を通じて指示などはできると考えている。

藤 伸一 議員

窓口業務について

問. コンビニエンスストアで各証明書が発行できるよう取り組んではいかがか

答. 市民の利便性を考慮し、研究していく



藤議員

質 コンビニでの各証明書発行のメリットとデメリットは。
西田市民課長 メリットは、全国の最寄りのコンビニで取得でき、取り扱い時間や利便性も広がり、行政の窓口業務の負担も減少する。デメリットは、システム導入に約2750万円、年間約300万円の負担が必要となる。

質 コンビニでの証明書の発行業務は、今後、庁舎の一本化も想定される中、必要な時に都合の良い場所でサービスが受けられ、地域格差がなくなり、行政側の業務の負担軽減やコスト削減の効果もあり、取り組み課題では。
市民課長 コンビニで交付を受ける際、住基カードが必要であり、カードの普及や導入の方向性など、費用対効果等を総合的に判断して検討していく。

質 胃がん検診について
質 嘉麻市の胃がん検診の内容は。
大里健康課長 40歳以上の方を対象にバリウムを投与し、レントゲン撮影を行っている。
質 近年、国際がん研究機関が十分な証拠に基づいて、「ピロリ菌」が胃がんの原因であると発表している。菌が胃粘膜に感染すると、毒素等を排出し、胃がんを誘発するそう

副市長 胃がんを誘発する原因の第一であるがん対策は行う必要があり、研究し対応したい。
※橋梁の長寿命化修繕計画についても質問しました。



稲築庁舎窓口

廣方 悟 議員

防災訓練と被災者等の支援について

問. 防災訓練の実施と被災者支援の手引きを

答. 今回の災害を教訓にしっかり対応する



廣方議員

質 昨今は、地球規模での異常気象による想定外という大規模な自然災害が発生するようになってきている。そこで、7月14日からの豪雨災害の状況は。
田中副市長 住宅被害は床下浸水を含めて439戸、道路等災害151カ所、農林災害454カ所及び市民への避難勧告を5地区146世帯に発令した。

質 合併後初めて広範囲な桑野地域の130世帯400名を対象に避難勧告が発令されたが、避難者への伝達、誘導、避難所の対応はどうであったのか。
副市長 防災無線や消防による呼びかけを行った。また、市民自らの一時避難の判断や行政からの情報も早く伝えなければならぬと感じた。

質 今回の災害では、人的被害の危険性がさらに高まれば避難指示が必要となり、市民等の強制避難となる。今後の災害に備えて、自助・共助・公助による自主防災組織づくりをどう進めるのか。
副市長 避難の要支援を必要とする台帳を整備し、災害時に誰がどのようにして支援するのか、地域における自主防災組織の体制整備を図る。

質 災害時の伝達、誘導、応急対応など、市民も含めての防災訓練をどう進めるのか。
副市長 安全・安心のまちづくりは重要であり、防災訓練の実施、職員の支援体制、自主防災組織、被災者支援の手引きについて、再度確認する。



桑野地区の土砂災害（7月）

害を教訓にしっかり対応していかなければならない。

山本 幹雄 議員

7.14の集中豪雨による災害について

問. 稲築の某地域の災害はどのように対応していくのか

答. 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業か県単急傾斜地崩壊対策事業で検討したいというのが県の考えだ



山本議員

質 稲築の某地域で高さ約20m長さ約60mにわたり法面崩壊し、家屋に土砂が流入している。早急に飯塚県土事務所と嘉麻市土木課と立会し、その後行政区長から早急な災害復旧工事の要望書と急傾斜地崩壊危険箇所の指定要望があったと思うが、その後どうなったのか。

山口土木課長 県では早急に測量をし、国へ要望申請を行ったが、8月中旬に事業不採択の回答が県土事務所にあった。その理由は保全人家の5戸に満たないとの説明だった。今後も協議を重ね、補助事業で採択されるよう要望して行きたい。

質 市長も現場を見て県土事務所にもお願いに行つたという事だが、どの考えるのか。

松岡市長 現場をよく知るといふ事は、県等に要望に行つた時大きな力になる。出来るだけ個人や市の負担が少なくて済むように対応したいので、今後要望をして行きたい。

質 7月14日の農林整備課所管の災害件数及び補助災害と単費災害の区別はどこか。

有田農林整備課長 農地農業用施設が補助対応で163カ所、林道災害が26カ所、隣地崩壊防止事業が10カ所、補助対象外が約300カ所以上になる。また40万円以上の事業費が補助対応となる。

質 その内容と調査方法及び今後の計画は。

田中産業振興課長 市民の買入物の状況の実態、問題点を把握する為に、戸別訪問による聞き取り調査を1000件、郵送による調査を500件、合計1500件を計画した。その後は嘉麻市買入物弱者対策庁内検討委員会において十分協議をし、必要な対策を講じてい



稲築地区の災害箇所

山倉 敏明 議員

施政運営について

問. 担当課を決めて、市バスの体系を整えては

答. バス専門の担当課を決め、取り組むべきと考える



山倉議員

質 第一次嘉麻市総合計画後期基本計画で掲げている「住みよさが感じられる交流のまちづくり」「市民と行政による協働のまちづくり」「広域的視点からのまちづくり」では、市の活性化を図る上で具体的な政策・対策が必要である。現在、市民が満足する「住みよさが感じられるまち」になっていると考

福田企画調整課長 平成23年に実施した市民満足度調査で、公営住宅の整備、公共交通の整備、広域的な基幹道路の整備について調査したところ、「やや不満」や「不満」という割合が高かった。

質 市全体の交通体系のあり方や利用者のニーズに応じた効率的なバス運行のため、今後どう取り組むのか。

田中副市長 利用者から、朝夕のバスが不便だという声が多く、10月1日から増便し、利便性の向上に努める予定である。

質 継ぎはぎだらけの施策ではなく、担当課を決めて、市バスの体系を整えてはどうか。

副市長 交通体系の整備を一体的に考え、またバス専門の担当課を決めて、取り組むべきと考えている。

要望 市全体の交通体系の整備を是非考えてもらいたい。



効率的なバス運行を

委員会の動き

民生文教委員会

7月27日

付託案件審査

産業建設委員会

8月1日

災害箇所視察調査

議会運営委員会

7月11日

7月臨時会の日程等

について

8月27日

9月定例会の日程等

について

9月18日

議長の諮問について

9月21日

新庁舎に関する事項
について

国道322号バイパス整備
に関する調査特別委員会

7月13日・8月27日

9月12日

国道322号バイパス
整備に関する事項
について

新庁舎に関する
調査特別委員会

8月20日

9月定例会最終日の
日程等について

広報編集特別委員会

7月17日・7月20日・
7月24日

議会広報の編集

議会改革に関する
調査特別委員会

7月11日・8月20日

議会改革に関する事
項について

(議会基本条例小委
員会)

7月11日

議会基本条例につい
て

8月8日・8月9日

先進地視察(滋賀県
野洲市・三重県伊賀
市)



議会基本条例について視察(野洲市)

北 富 敬 三 議員

県道豆田・稲築線西岩崎の拡幅工事について

**問. 10年前約束された側溝の
拡幅、接続は行うのか**

**答. 県道の水路ができた時点で
接続したい**



北富議員

質 道路の拡幅、水路
工事はどのような工程
で行うのか。また、完
了はいつか。
山口土木課長 志耕館
高校入口から大西ヶ浦
交差点まで670m、
県によって進められて
いる。桂川に向かって、
道路の右側に西岩崎交
差点付近まで630m
水路を新設し、道路左
側の水路拡幅工事を大
西ヶ浦交差点まで75
0m行う計画となつて
いる。事業完了は平成

27年と聞いている。
質 10年前に一般質問
で筑前生コン入口付近
の側溝の拡幅と水路へ
の接続工事をする約束
をしていたが、その工
事は施工してもらえ
るのか。
土木課長 大雨の時に
現場に行き、雨水が直
接流れているのを確認
した。豆田・稲築線に
大きな水路が計画され
ているので、これがで
きた時点で側溝をつな
ぎこみたい。

市水道について
質 浄水場の数、原水
の処理方法は。また、
鉛管の布設替え工事は
どのくらい残っていて、
総額はいくらか。
中並水道局長 浄水場
の数は6カ所、処理方
法は急速ろ過と緩速ろ
過がある。鉛管は平成
19年度から約1000
カ所布設替えを行い、
1億2045万円かか
った。残りは山田地区
が13カ所、嘉穂地区が
119カ所、残事業費

としては2千万円程度
となっている。
質 1日でも早い工事
を願う。鴨生浄水場は
移転するのか。
水道局長 鴨生浄水場
は廃止し、漆生浄水場
と統合整備を行う計画
だ。
質 水利権の許可が出
るまでどれくらいかか
るか。
水道局長 今のところ
不明だが、議会後、国
土交通省へ行き、話を
進める。



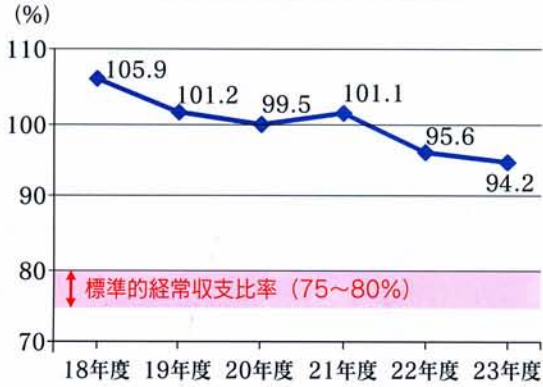
県道稲築・豆田線

質 もう少し早く鴨生
浄水場の移転を。
松岡市長 早急に考え
ていくことが重要だ。

平成 23 年度

決算 6 会計を認定

経常収支比率の推移



※ 経常収支比率の見方は 6 ページを御覧下さい

決算特別委員会において、平成23年度の一般会計ほか5会計の決算審査を行いました。

一般会計においては、歳入総額259億4590万円、歳出総額250億4294万94万円とし、歳入歳出差引額は、9億296万円で、うち5億円は基金に繰り入れます。

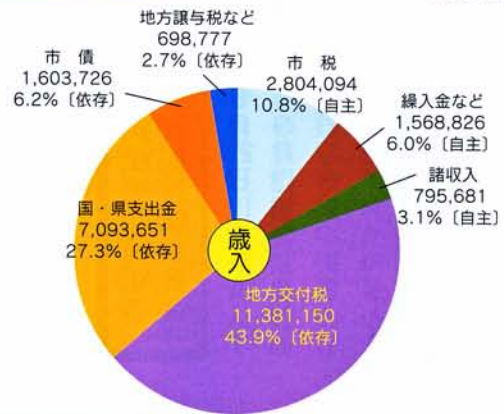
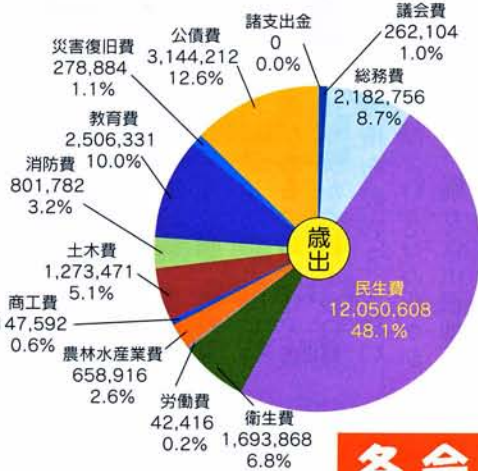
市の財政状況としては、市税などの自主財源が19・7%、地方交付税や国県支出金などの依存財源が80・3%と、他に頼った自治体運営となっております。

経常収支比率は、94・2%と前年度より向上しましたが、財政力指数は0・259ポイントと、前年度より若干悪化した結果となりました。

審査の結果、6会計ともに認定されました。

一般会計決算の状況

(単位千円)



各会計の決算額

		歳入	歳出	差引額
一般会計		259億4,590万円	250億4,294万円	9億 296万円
国民健康保険事業特別会計		52億9,391万円	56億1,010万円	△3億1,619万円
後期高齢者医療特別会計		5億7,097万円	5億5,491万円	1,606万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計		1億 235万円	8,848万円	1,387万円
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	54億4,026万円	54億1,436万円	2,590万円
	サービス事業勘定	5,101万円	5,101万円	0
水道事業会計		8億4,223万円	9億4,032万円	△9,809万円